

「若者力によるNPOと企業の協働促進事業」

2025年度 結果報告書

「若者力によるNPOと企業の協働促進事業」とは

当事業の目的は、NPO（市民活動団体）が若者（大学生）の意見を反映した企業との連携に向けた企画提案を行うことにより、NPOの活動の可能性を広げることです。また、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていくことを促進することです。

全体スケジュール

2025年

7月13日（日） NPOと企業の協働セミナー（大学生対象・Zoom開催）

8月下旬～9月中旬 セミナー参加大学生とNPO4団体とをマッチング（事務局）

9月20日（土） NPO協働研修（あいちNPO交流プラザ）

10月4日（土） 大学生と企業のパネルディスカッション（Aichi Sky Expo）

10月下旬～11月上旬 NPO中間報告会（Zoom開催）

2026年

11月上旬～1月中旬 NPOと企業の協働アワードに向けたプレゼン研修（合同・個別）（あいちNPO交流プラザ・Zoom併用）

1月24日（土） NPOと企業の協働アワード（ウインクあいち）

目次

1. NPOと企業の協働セミナー	P 3
2. NPO協働研修	P 6
3. 大学生と企業のパネルディスカッション	P 9
4. NPO中間報告会	P10
5. NPOと企業の協働アワードに向けたプレゼン研修	P11
6. NPOと企業の協働アワード	P13
7. 参加NPO寄附金活用状況	P16

1. NPOと企業の協働セミナー

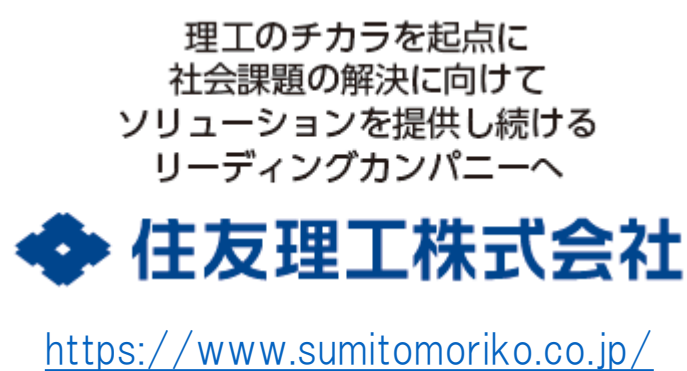
(1) スケジュール

開催日時	開催形態	参加者（大学生）
7月13日(日) 14:00～16:00	オンライン (Zoom)	リアルタイム視聴参加 5名 アーカイブ視聴参加 5名

(2) 内容

①「協賛企業紹介」 住友理工株式会社 経営企画部 担当部長 土屋賢一氏

ホームページを画面共有しながら会社概要を説明いただき、特に、社会貢献の分野では、地域社会と共に発展し価値を創造していくことに力を入れていると実例もあげて紹介しました。



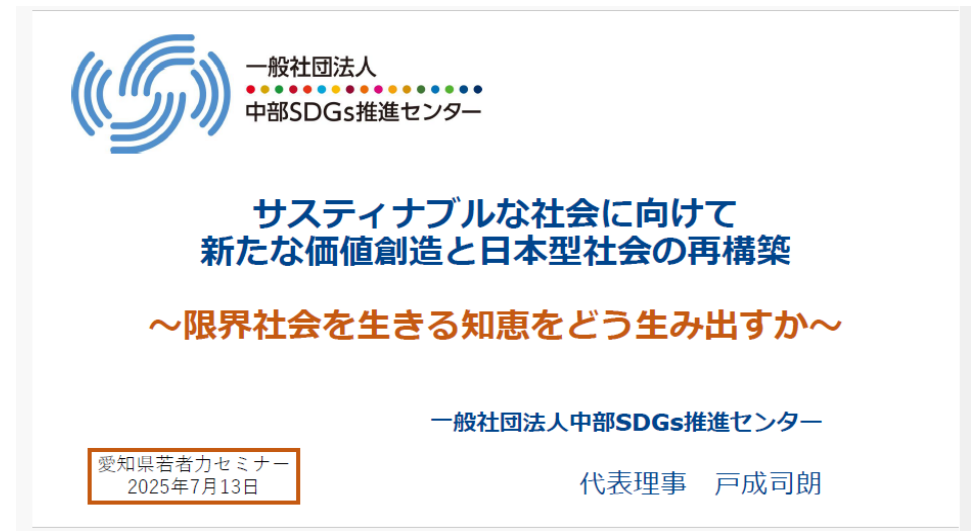
②「協賛企業紹介」 日本メナード化粧品株式会社 経営企画室 副室長 片寄太郎氏

資料を画面共有しながら会社概要を説明いただき、社会をより優しく、より笑顔あふれるものにしていくために、営利・非営利の枠を超えて、NPOなどの新しい価値を創る団体と連帯している現状を紹介しました。



③「講義」 戸成司朗氏 ※下記講師紹介参照

「サステイナブルな社会に向けて新たな価値創造と日本型社会の再構築～限界社会を生きる知恵をどう生み出すか～」と題し、今、世界や日本で何が起きているのか、私たちはどのような環境に置かれているのか、その中でNPO団体はどのような存在であり活動をしているのか、自分たちが今回の活動で何を得られるのかを、大学生に向けてわかりやすく講義しました。



※講師紹介 戸成司朗氏

一般社団法人中部サステナビリティ&ウェルビーイング推進センター 代表理事



35年間セゾングループ(株)西友に勤務、2007年執行役副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。

自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進してきた。また、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立。また、中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。

2019年一般社団法人中部SDGs推進センターを設立。代表理事に就任し、SDGsの普及啓発、実践指導を行っている。

2025年12月、事業拡大に伴い法人名を変更し現職。

(3) 参加した大学生の声

「日本の企業が表面的な形だけを整えて本質的なところまで考えていないことが多い」というお話が、私の通っている大学にも共通するところがあると思い、印象に残りました。

「自社のらしさがあるからこそできるモノ・コトを価値に合ったプライスで提供することが必要である」という内容が心に刺さりました。自身も起業し、モノを販売する立場にあることもあり、「自分らしさ」「自分でしか生み出せないもの」はなんなのか、もう一度見つめ直し、その上で対価に見合う価値を生み出せるようになりたいと思いました。

「なぜ最近サステイナブルという概念が生まれてきたのか」が分かりやすく説明されていた。

トップマネジメントのところの日本企業の三つの過剰が印象に残りました。

課題への多角的なアプローチ方法を知ることができました。

「現在の日本においては、格差を是正し1人あたりの豊かさの充実を目指す必要があり、そのためには、社会と企業が一体となり、長期的な視点をもって社会福祉国家を目指すべきである」ということが印象に残りました。

社会共通資本が印象に残りました。特に私は教育を学ぶ人間として、教育という共通資本が気にかかりました。お話ししていただいた内容は大学のことについてでしたが、義務教育についても共通資本という点から、問題視されていることなどあったら、ぜひお聞きしたいです。

社会を変えていくには様々なアプローチがあることを知ることができました。

2. NPO協働研修

(1) スケジュール

開催日時	開催会場	参加者（NPO・大学生）
9月20日(土) 13:30～16:30	あいちNPO交流 プラザ 会議室	NPO4団体※下表参照 9名 大学生 5名

NPO団体名	主な活動内容
NPO法人あいちかすがいっこ https://kasugaikosodate.org/	「助け合う」「支えあう」「認め合う」「見守る」地域づくりを基本理念に、地域を巻き込みみんなで子育ての実現に向け、「支え合い・助け合う」ことが自然にできる環境を目指しています。
NPO法人シェイクハンズ https://shake-hands.jp/	海外につながるのある子どもたちを中心に、国籍・見た目・環境に関係なく学習・生活・日本語支援を行い、地域の子どもとして誰もが暮らしやすい豊かな地域になることを目指しています。
NPO法人シニアメイクセラピー協会 https://senior-make.com/	高齢者へ会話をしながらメイクをすることは、高齢者の脳が刺激され、社会性や自信を取り戻す力に！メイクを通して心まで元気で笑顔になる活動をしています。
NPO法人全国福祉理美容師養成協会（ふくりび） https://www.fukuribi.jp/	「誰もがその人らしく美しく過ごせる社会」の実現を目指し、「楽しい・美味しい・おしゃれ」をキーワードに、高齢者・障がい者・がん患者やヤングケアラーの支援などを行っています。

(2) 内容

①「講義」 戸成司朗氏

「NPOと企業の協働提案企画書づくり～プログラムのグランドデザインを作成～」と題し、まず、大学生がNPOのミッションや活動内容を理解することの大切さを説明しました。次に、企業が協働をする際に期待する視点や、さらには、具体的にどのような価値を創造していけばよいか、また、グランドコンセプトにどう落とし込んでいくかを講義しました。



②「あいプラットの説明」 愛知県社会活動推進課

今後、NPOと大学生が企業への協働企画を検討していく際に活用することを目的に、「あいち協働プラットフォーム（あいプラット）」の利用方法を説明しました。



③「各NPOごとの4チームに分かれ企画検討～発表」

講義内容に基づき、NPO活動を理解した上で、各協賛企業に向けた協働企画について検討を開始し、グランドコンセプトについて発表しました。

住友理工株式会社向け協働企画検討

あいちかすがいっこチーム



シェイクハンズチーム

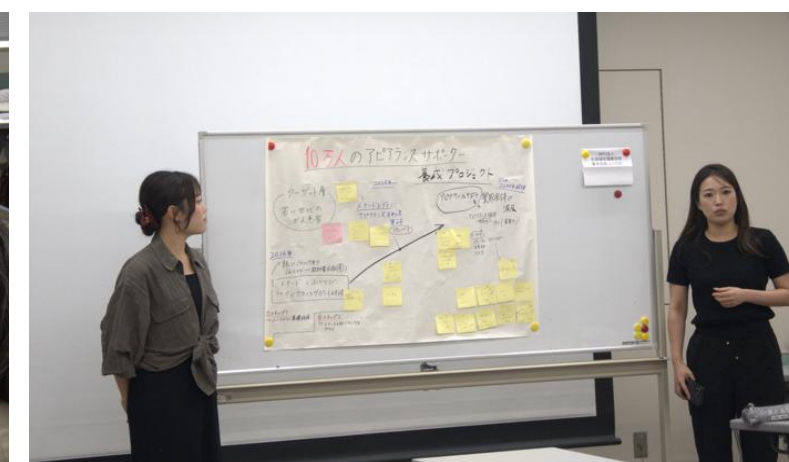


日本メナード化粧品株式会社向け協働企画検討

シニアメイクセラピー協会チーム



ふくりびチーム



初顔合わせの場でもあり、皆さん緊張気味にスタートしましたが、検討が進むにつれて積極的に意見を出し合い、限られた時間の中で、全チームがグランドコンセプトの端緒に到達することができました。

(3) 参加したNPOの声

講義により法人のあり方を考え、振り返りができた。
大学生との企画検討においては、「私」が前に出ないようにすることが大切だと思った。

企業と協働するにあたって必要な事などがわかってよかった。
普段考えつかない考えや思いつきなど、大変刺激をいただいた。

企業との協働の3視点について、これからしっかりと考えていきたいと思った。
大学生にとっては、短時間で団体のことを知り企画を考えることはかなり難しかったと思うが、よくアイデアを出してくれた。

順に明確にしていくことを教えていただき、企業にアピールする事項を学ぶことができた。
若い方の意見が新鮮だった。

様々な視点から業界の活動を知る事ができ、世界が広がりました。
若い世代の方から見て、今後の企画がどう発展していくのかとても楽しみにしている。

(4) 参加した大学生の声

「共通善が大切」という言葉が印象に残った。確かに何か一つだけに善くても持続しないよなと考えた。
学生にしか出せない意見もあったし、NPOの方にしか出せない意見もあった。その意見を融合させて良い意見を出すことができ、達成感が感じられた。

社会参加のあり方がわかった。自分が家族や社会に提供できる価値は何だろうと思った。
検討時間が短い中、具体性を高める作業が難しかった。

講義では、「善い」の判断が未来基準であることが印象に残った。
多文化共生について考えを共有し、自分の考えを深めることができよかった。

企画作成のノウハウについて、広い視点から学ぶことができた。
NPOの方と顔合わせをして、さまざまな意見を交換できたのが非常に楽しかった。

講義での3つの「善い」についての話の中で、「共通善」が特に印象に残った。プロジェクトの中でも3つを意識して企画したい。
収益まで考えることは学生の頭にはなかったもので、NPOの方とのお話の中で知ることができてよかった。

3. 大学生と企業のパネルディスカッション

(1) スケジュール

開催日時	開催会場	参加者（大学生・企業）
10月4日(土) 10:00～10:45	Aichi Sky Expo 展示ホールC	大学生 3名 協賛企業 2名

(2) 内容

SDGs AICHI EXPO2025 ～SDGs子ども・ユースフェア～のメインステージプログラムの一つとして、「大学生と企業のパネルディスカッション」を行いました。参加者は以下のとおりです。

・モデレーター：戸成司朗氏

・パネラー：先のNPO協働研修に出席した大学生より3名、
住友理工株式会社 経営企画部 担当部長 土屋賢一氏、
日本メナード化粧品株式会社 経営企画室 石川典子氏 以上5名

まずは、各企業の方から自社の社会的存在価値、社会貢献の考え方について語っていただきました。続いて、社会貢献活動について学生側から企業に期待すること、企業側からのそれに対する答えなど、意見交換をしました。

参加した学生たちは、社会課題に対してとても意識が高く、今回の「若者力によるNPOと企業との協働促進事業」での活動を通じて、より成長したいとの意気込みを語ってくれました。

当日の様子



大学生

協賛企業

モデレーター

4. NPO中間報告会

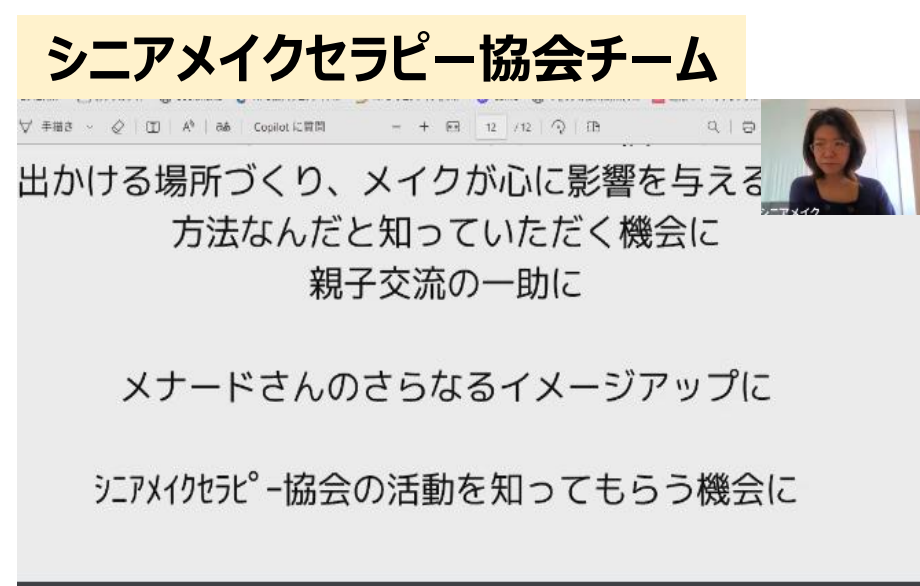
(1) スケジュール

開催日時	開催形態	参加者（NPO・大学生）
10月29日(水) 15:00～16:00	オンライン (Zoom)	ふくりびチーム NPO 1名、大学生 1名
10月31日(金) 13:00～14:00		あいちかすがいっこチーム NPO 1名、大学生 1名
11月1日(土) 10:30～11:30		シェイクハンズチーム NPO 2名、大学生 2名
11月1日(土) 11:30～12:30		シニアメイクセラピー協会チーム NPO 2名、大学生 1名

(2) 内容

NPO協働研修から1ヵ月余り経過し、各チームにて個別に進めた検討状況を戸成講師に報告しました。講師からは、それぞれの企画のグランドコンセプトに対して、方向性、あるいは規模や場所等について、より考えを深めるよう指示が出されたり、軌道修正を求める場面もありました。

NPOと大学生の皆さんは真剣にそれを受け止め、プレゼン作成に入るにあたって後戻りしないよう、具体的な質疑応答を重ねていました。



5. NPOと企業の協働アワードに向けたプレゼン研修

(1) スケジュール

合同研修

開催日時	開催形態	参加者 (NPO・大学生)
11月1日(土) 10:00~10:30	オンライン (Zoom)	NPO 5名 大学生 3名

個別研修①

開催日時	開催会場・形態	参加者 (NPO・大学生)
12月10日(水) 14:00~14:45	あいちNPO交流 プラザ 会議室 or オンライン (Zoom)	シニアメイクセラピー協会チーム NPO 1名
12月10日(水) 14:45~15:30		あいちかすがいっこチーム NPO 1名、大学生 1名
12月11日(木) 10:00~10:45		ふくりびチーム NPO 1名、大学生 1名
12月11日(木) 10:45~11:30		シェイクハンズチーム NPO 2名

個別研修②

開催日時	開催形態	参加者 (NPO・大学生)
1月13日(火) 14:00~14:30	オンライン (Zoom)	ふくりびチーム NPO 1名、大学生 1名
1月13日(火) 14:30~15:00		シェイクハンズチーム NPO 1名
1月14日(水) 10:00~10:30		シニアメイクセラピー協会チーム NPO 1名
1月14日(水) 10:30~11:00		あいちかすがいっこチーム NPO 1名、大学生 1名

(2) 内容 講師：戸成司朗氏

合同研修

「企業への協働提案に向けてプレゼンテーションPPTの作り方～伝えるから伝わるへの転換～」と題し、まず、なぜNPOにとってプレゼンテーションが重要かを説明した上で、自団体との協働の有効性を示す大切さや、「伝える」から「伝わる」を意識したプレゼンテーションのノウハウを講義しました。

受講後、ノウハウに沿って各チームにてプレゼン資料を作成

個別研修①

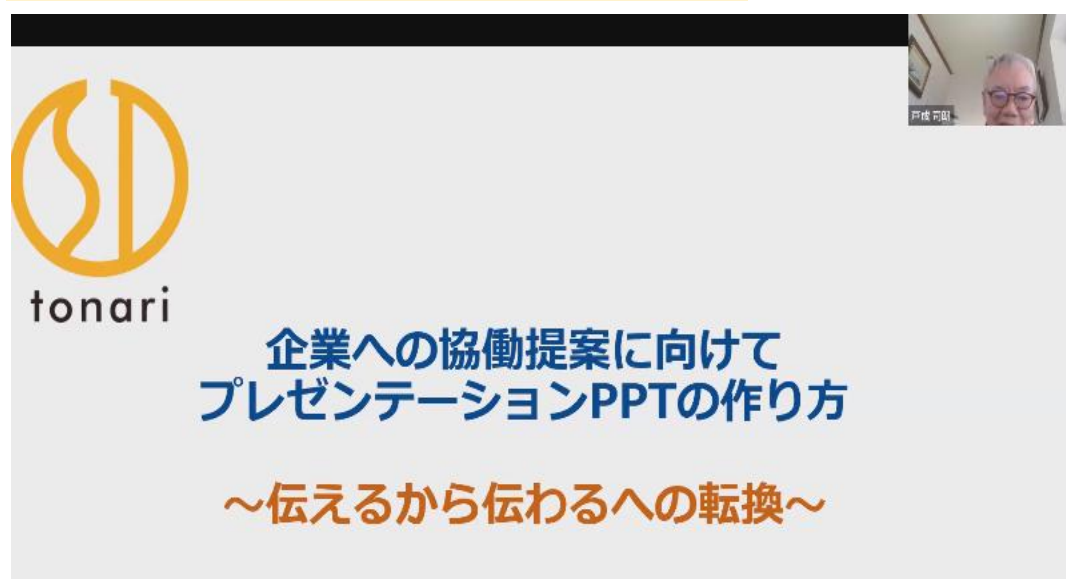
4チームそれぞれが作成したプレゼン資料に対し、個別指導（45分/1チーム）を行いました。まずは、本番と同様の形で実際にプレゼンし、講師より具体的に「こうした方が伝わる」とアドバイスしました。皆さん、企業から共感をより得られる資料とするべく、熱心に指導を受けていました。

プレゼン資料をブラッシュアップ

個別研修②

オンライン（Zoom）にて、講師より最終チェック（30分/1チーム）を行いました。先の個別研修での指摘事項に対して、チームにより修正度合が異なりましたが、最終的な講師からのアドバイスを受け、皆さん、今一度修正すべき点を理解して研修を終えました。

合同研修の様子（Zoom）



個別研修の様子（会場）



6. NPOと企業の協働アワード

(1) スケジュール

開催日時	開催会場	参加者
1月24日(土) 13:30～16:00	ウインクあいち	会場（投票者） 32名 オンライン（Zoom） 6名

(2) 内容

①NPO・大学生によるプレゼンテーション

あいちかすがっこチーム

テーマ：地域を巻き込みみんなで子育て



パパは仕事に奮闘、ママは子育てに奮闘。いつしかすれ違い。子育てをしていると思うことは、夫婦でお互いの状況を知り理解することが大切だということ。

そこで、住友理工様に提案します。家族を持つ持たないに関わらず、全ての従業員が家族を持つことへの理解を深めたら、それは社会全体が家族に、人にやさしくなれるということ。私たちは毎年、ママの文化祭®を春日井市で開催しています。これを基に、ママの文化祭® with DADとして従業員の皆さんでイベントを開催しませんか。運営マニュアルもあるので、誰でもできます。

子育てしやすい会社、働きやすい会社と認識され、チーム意識も高まることでしょう。地域社会からの信頼も獲得できます。

シェイクハンズチーム

テーマ：朝市で地域とつながるプロジェクト



地域に住む外国人の割合が増えるとともに、日本人、外国人双方から不満の声が聞こえてきます。解消するには、相互理解とコミュニケーションが必要です。でも意外とその場が地域にも職場にもないのが現状です。

そこで、提案するのが朝市です。例えば、朝市をきっかけにひきこもりから外出できるようになった事例もあります。地域のゴミ・騒音問題も、朝市や農園で住民が外国人と出会い、話し合うことで解決することができます。住友理工様の従業員とご家族には、ぜひこのプロジェクトにメンバーとして参加いただきたいです。農園で野菜を育てて収穫し、それを料理する。言葉を越えた共同作業でつながり、「真の相互理解」に向けて多文化交流しましょう。

①NPO・大学生によるプレゼンテーション（つづき）

シニアメイクセラピー協会チーム テーマ：MAKE（メイク）で届けるありがとう

～お母さんと私のメイクレッスン～



女性はいくつになってもきれいでありたい。人と関わってみたい。でも高齢化、人口減少、核家族によるコミュニケーション不足で、高齢者は孤独を抱えています。あなたは、お母さんの好みを知っていますか？

そこで私たちは、親子(母娘)の共通体験を通して心を通わせてもらいたい、と考えました。まず、メナードサロンのお客様を対象に、そのお母さんと二人をイベントにご招待します。お化粧品と一緒に学んで、リップとチークはぜひ娘さんがお母さんへしてあげてください。会場は香りや音楽で満たし、お茶をいただいたり、特別な雰囲気です。最後は記念写真も撮りましょう。化粧(MAKE)で共に過ごす時間と未来も作って(MAKE)いくのです。

ふくりびチーム

テーマ：10万人のアピランスサポーター養成プロジェクト



アピランスサポーターとは、病気や治療による外見の変化に悩む人に寄り添い、その人らしく生活を送れるように支える人のことです。

がんで苦しいのは治療の痛みだけではなく、副作用による外見の変化が苦痛と答える人も多いのです。私たち「ふくりび」は、「誰もがその人らしく美しく過ごせる社会」の実現を理念として取り組んできました。また、外見だけでなく、生活や家族の時間にも寄り添ってきました。そして支援のもっと手前の日常に理解者を増やす必要があると考え、上記テーマに到達したのです。

日本メナード化粧品様に向けてのご提案ですが、まず私たちのノウハウで貴社のスタッフ用アピランス研修を共に構築します。メナード青山リゾートのスタッフ向けを想定してみました。検定も設けてステップアップしていき、最上位の方によってエステのアピランスサポートコースができたかと考えました。

②NPO・大学生との意見交換

発表された企業との協働企画に対して、あるいはNPOの活動内容についての質問を会場参加の県民の皆さんからしてもらい、より協働企画についての理解を深めていただきました。



<ファシリテーター>
原田さとみ氏
エシカル・ペネロープ(株)代表



③投票

会場の参加者は、提案先企業ごとに、より共感した団体を選び、投票用紙に投票理由を記入して投票しました。



④投票結果等に基づき協賛企業から寄附金の贈呈

投票結果と審査員による審査結果に基づき、受賞団体と寄附金額が発表されました。

住友理工株式会社向け企画に対する住友理工賞と入賞は、同社経営企画部 部長 脇坂様から、日本メナード化粧品株式会社向け企画に対する日本メナード化粧品賞と入賞は、同社経営企画室 副室長 片寄様から、それぞれ各団体へ贈呈されました。

賞	団体名	寄附金額
住友理工賞	NPO法人 あいちかすがいっこ	180,000円
入賞	NPO法人 シェイクハンズ	120,000円
日本メナード 化粧品賞	NPO法人全国福 祉理美容師養成 協会 (ふくりび)	180,000円
入賞	NPO法人シニア メイクセラピー協会	120,000円

あいちかすがいっこチーム



ふくりびチーム



シェイクハンズチーム





シニアメイクセラピー協会チーム




7. 参加NPO寄附金活用状況

NPO団体名 (URL)	NPO法人あいちかすがいっこ https://kasugaikosodate.org/												
寄附金額	180,000 円												
寄附金活用状況	<p>■ 概要 「協働企業の要望に沿ってカスタマイズする形でイベントを開催」 第14回ママの文化祭®において「住友理工」として出展参画を検討 そこからまずは地元企業としてのCSR活動を発信 第50回春日井まつりでは、社員のボランティア活動を啓発する協力を行う</p> <table border="1" data-bbox="646 859 1936 1632"> <tr> <td>事業名等</td> <td>春日井まつり・ママの文化祭®</td> </tr> <tr> <td>日時 (期間)</td> <td>春日井まつり 2026.10.17-18 ママの文化祭® 2026.12.18</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>春日井まつり 春日井市市庁舎周辺 ママの文化祭® 春日井市総合体育館及び近郊の会場</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>社員参画型のイベントを開催</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>社員またはその家族</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>ママの文化祭® 20人（住友理工関係者）</td> </tr> </table> <p>■ 具体的な状況 住友理工株式会社と3月9日に打合せを行い、活動としての参加ときっかけづくりをして欲しいというミッションをいただきました。</p> <div data-bbox="655 1906 1446 2200" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1522 1770 1925 2200" data-label="Image"> </div> <p>写真は過去のイベントの様子</p>	事業名等	春日井まつり・ママの文化祭®	日時 (期間)	春日井まつり 2026.10.17-18 ママの文化祭® 2026.12.18	場所	春日井まつり 春日井市市庁舎周辺 ママの文化祭® 春日井市総合体育館及び近郊の会場	内容	社員参画型のイベントを開催	対象	社員またはその家族	参加人数	ママの文化祭® 20人（住友理工関係者）
事業名等	春日井まつり・ママの文化祭®												
日時 (期間)	春日井まつり 2026.10.17-18 ママの文化祭® 2026.12.18												
場所	春日井まつり 春日井市市庁舎周辺 ママの文化祭® 春日井市総合体育館及び近郊の会場												
内容	社員参画型のイベントを開催												
対象	社員またはその家族												
参加人数	ママの文化祭® 20人（住友理工関係者）												
今後のNPO活動全般における抱負	<p>企業を巻き込みイベントを開催することは、家族についてそれぞれが考える機会になると思いますし、イベントを通じて社員同士の交流や絆も生まれるのではないかと期待をしています。ミニマムサイズでもいいので、形に出来ればと思っています。</p>												

NPO団体名 (URL)	NPO法人シェイクハンズ https://shake-hands.jp/												
寄附金額	120,000 円												
寄附金活用状況	<p>■ 概要 農園事業での朝市交流での備品購入と農業体験の経費に使う予定。</p> <table border="1" data-bbox="642 744 1892 1638"> <tr> <td>事業名等</td> <td>ヤギのいる朝市</td> </tr> <tr> <td>日時 (期間)</td> <td>原則として毎月最終日曜日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>犬山コミュニティ農園</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>朝市や農業体験活動を通して、地域住民と外国籍住民との交流の場作り</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>誰でも</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>100人</td> </tr> </table> <p>■ 具体的な状況 朝市の周知のためののぼり旗を作成し、農園近辺に立てることで広報する。農業活動で使う苗や種の購入費に使う予定。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">写真は現状の朝市の様子</p>	事業名等	ヤギのいる朝市	日時 (期間)	原則として毎月最終日曜日	場所	犬山コミュニティ農園	内容	朝市や農業体験活動を通して、地域住民と外国籍住民との交流の場作り	対象	誰でも	参加人数	100人
	事業名等	ヤギのいる朝市											
日時 (期間)	原則として毎月最終日曜日												
場所	犬山コミュニティ農園												
内容	朝市や農業体験活動を通して、地域住民と外国籍住民との交流の場作り												
対象	誰でも												
参加人数	100人												
今後のNPO活動全般における抱負	<p>外国にルーツを持つ子ども達の支援を強化し、また、地域ともより一層強くつながっていきたい。 そのためにも、この農園活動を活性化する！</p>												

NPO団体名 (URL)	NPO法人シニアメイクセラピー協会 https://senior-make.com/												
寄附金額	120,000 円												
寄附金活用状況	<p>■ 概要 エンディングフォトを今後事業展開するための撮影に必要な会場、カメラマン手配、広告に使う予定。</p> <table border="1" data-bbox="657 749 1903 1753"> <tr> <td>事業名等</td> <td>いつまでも笑顔フォト撮影会</td> </tr> <tr> <td>日時 (期間)</td> <td>2026.4.18 宣伝用撮影</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>未定 (名古屋市内)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>お気に入りのエンディングフォトを持ってもらう。亡くなった時に慌てて遺影の写真を探す話はよく聞くこと。また、使ってほしい写真を本人が指定してくることもあるそう。そうであるならば、楽しみながら満足する一枚を撮って記念にしてほしい。そして、写真を撮ることでの先も元気に過ごしてほしい。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>シニア世代</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>モデル4名、カメラマン1名、シニアメイクセラピスト数名</td> </tr> </table>	事業名等	いつまでも笑顔フォト撮影会	日時 (期間)	2026.4.18 宣伝用撮影	場所	未定 (名古屋市内)	内容	お気に入りのエンディングフォトを持ってもらう。亡くなった時に慌てて遺影の写真を探す話はよく聞くこと。また、使ってほしい写真を本人が指定してくることもあるそう。そうであるならば、楽しみながら満足する一枚を撮って記念にしてほしい。そして、写真を撮ることでの先も元気に過ごしてほしい。	対象	シニア世代	参加人数	モデル4名、カメラマン1名、シニアメイクセラピスト数名
	事業名等	いつまでも笑顔フォト撮影会											
日時 (期間)	2026.4.18 宣伝用撮影												
場所	未定 (名古屋市内)												
内容	お気に入りのエンディングフォトを持ってもらう。亡くなった時に慌てて遺影の写真を探す話はよく聞くこと。また、使ってほしい写真を本人が指定してくることもあるそう。そうであるならば、楽しみながら満足する一枚を撮って記念にしてほしい。そして、写真を撮ることでの先も元気に過ごしてほしい。												
対象	シニア世代												
参加人数	モデル4名、カメラマン1名、シニアメイクセラピスト数名												
今後のNPO活動全般における抱負	<p>■ 具体的な状況 モデルは下記ちらしで募集中(2名決定)。カメラマン手配済。会場検討中。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <h2 style="text-align: center;">メイクモデル募集</h2> <p style="font-size: small;">はじめまして。シニアメイクセラピー協会の石原と申します。私たちはシニア世代へ向けて美容で健康づくりの応援をしています。今回、下記プロジェクトを立ち上げようとしています。つきまして、イメージモデルをしていただける方を探しています。撮影データはプレゼントします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイクをさせていただける方 ・写真撮影OKな方 ・弊協会HP、インスタなどSNS、その他広告にて顔公開OKな方 ・弊協会会員の活動用にプロフィール写真として顔公開OKな方 </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid #ccc; padding: 5px; text-align: center;">  <p style="color: green; font-weight: bold;">いつまでも笑顔フォト 撮影会</p> <p style="color: red; font-size: x-small;">by シニアメイクセラピー協会</p> </div> </div> <p>今までの施設訪問活動の継続と別に、一般社会に向けて発信をしていくことで、シニア世代はもちろん幅広い年代にシニアの健康と美容のつながりを知ってもらいたい。</p>												

NPO団体名 (URL)	NPO法人全国福祉理美容師養成協会（ふくりび） https://www.fukuribi.jp/												
寄附金額	180,000 円												
寄附金活用状況	<p>■ 概要 がん治療中の方やご家族が安心して過ごせる居場所「TOTONOUハウス」の運営および患者・家族向けイベントの実施に活用いたします。 施設の維持管理費（光熱費・消耗品費）、備品整備費、患者・家族向け交流イベントの実施費として充てます。</p> <table border="1" data-bbox="642 891 1890 1655"> <tr> <td>事業名等</td> <td>TOTONOUハウス</td> </tr> <tr> <td>日時 (期間)</td> <td>2026年4月～2026年8月（予定）</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>名古屋市千種区鹿子殿3-2</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>通院時の休憩スペースの提供、交流機会の創出、患者・家族向けイベントの実施</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>がん患者とそのご家族</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>200人</td> </tr> </table> <p>■ 具体的な状況 週2回の開所運営に加え、春休み・夏休み期間中には患者さんのご家族が楽しめるイベントを開催しており、その運営費および活動費として活用いたします。 (下は直近のイベント例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/26（木）いちごジャムづくり ・ 3/27（金）こどもヨガ（親子参加もOK） ・ 4/1（水）陶芸教室 ・ 4/2（木）イラスト教室 ・ 4/3（金）マジック教室 <div data-bbox="1597 1704 1953 2266" style="float: right; text-align: center;"> <p>TOTONOUハウス</p>  </div>	事業名等	TOTONOUハウス	日時 (期間)	2026年4月～2026年8月（予定）	場所	名古屋市千種区鹿子殿3-2	内容	通院時の休憩スペースの提供、交流機会の創出、患者・家族向けイベントの実施	対象	がん患者とそのご家族	参加人数	200人
事業名等	TOTONOUハウス												
日時 (期間)	2026年4月～2026年8月（予定）												
場所	名古屋市千種区鹿子殿3-2												
内容	通院時の休憩スペースの提供、交流機会の創出、患者・家族向けイベントの実施												
対象	がん患者とそのご家族												
参加人数	200人												
今後のNPO活動全般における抱負	企業の皆さまとの協働を通じて支援の輪を広げ、がん治療中の方やご家族が孤立することなく安心して過ごせる地域社会の実現を目指してまいります。												

発行：2026年3月
主催：愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課
受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター